



明治用水 頭首工 漏水事故を受けて

東海農政局並びに国へ要望

本年5月17日、愛知県を流れる矢作川の明治用水頭首工において発生した大規模漏水事故により、農業用水等の取水が停止する事態となりました。

明治用水は1880年に通水し、安城市を中心とする西三河地域を農業先進地として発展させ、その取水施設である現在の明治用水頭首工は1958年に設置され、農業用水のみならず、自動車関連産業を始めとする工業用水としても受水しております。

今回の漏水事故は「あいちのかおり」を始めとする田植えの時期を直撃し営農に多大な影響を及ぼす一方で、工業用水受水事業者でも厳しい受水制限を強いられ企業活動に影響を与えることとなりました。

そこで、事故発生時から西三河選出の県会議員より地元の現状、具体的な提案を聴取し、取りまとめを行い、5月20日に

管理者である東海農政局長へ地元の思いを込めた要望書の提出を行いました。

併せて日々刻々と変化する現場にあつて、6月13日には“応急ポンプ等による河川からの取水に対する柔軟な対応”を求め国土保全局長、国土交通大臣政務官と面会し、その後“頭首工の機能復旧”、“農業保険の加入有無に関わらない補填措置”、“必要となった種苗等の資材費の補填措置”、“耐用年数を超える老朽化施設への対策並びに予算措置”等を農林水産省農村振興局長と農林水産大臣政務官にそれぞれ面会し事情説明を行いました。

同時に、愛知県でも6月定例議会において、取水のための応急ポンプの設置



農林水産省農村振興局長と



東海農政局長と

費用の補填や農家が営農再開に必要な農業資材の経費に対する予算措置を行いました。

6月議会 で決まったこと(抜粋)

燃油価格高騰の影響を受ける事業者支援

- **私立学校** 私立学校のスクールバスの燃油費、学校給食費補助 (幼稚園、小中高等学校、専修学校等)

286,644千円

- **社会福祉施設** 利用者の送迎、居宅訪問等の車両の燃料費

1,116,440千円

- **医療機関** 透析患者送迎、訪問診療実施の医療機関への補助

39,444千円

- **公共交通事業者** 運行継続のための支援金 (バス、鉄軌道(リニモ)、タクシー、定期航路事業者)

521,988千円

物価高騰の影響を受ける事業者支援

- **民間保育園** 給食費支援 (保育所、認定こども園、小規模保育・事業内保育事業所等) 443,751千円

- **県立学校** 給食費支援 (定時制、特別支援) 27,524千円

- **生活困窮者支援活動団体の支援** 51,251円
NPO法人等への支援 上限1団体50万円
市への支援 1自治体上限375万円

- **子ども食堂活動支援** 30,091千円
運営を行っている団体 上限10万円



ジブリパーク開園に向けての 取り組み

2022年11月1日開園予定

★ 3エリア

- ① 青春の丘
- ② ジブリの大倉庫
- ③ どんどこ森

2023年度以内開園予定

★ 2エリア

- ④ もののけの里 (秋予定)
- ⑤ 魔女の谷 (2024年3月頃予定)



※面積は5エリア全体で約7.1ha(愛・地球博記念公園面積:約194ha)

ジブリパークと関連した 施設整備

ジブリパークのチケットを持っていなくても遊具として遊べる施設整備をモリコロパーク内に行います。「猫の恩返し」の猫王の城をモチーフとして滑り台、迷路、ターザンロープなどの遊具の整備を行います。(供用開始2023年度夏)

完成イメージ図



公園内にコインロッカー 及びクロークの新設 (10月中旬から)

- コインロッカー設置は北口案内所、西口案内所・休憩所で1日1回小型300円、中型500円、大型600円
- クロークは北口案内所で1日1回600円

公園内の駐車場料金

混雑期に自動車での来園を抑制するため土日祝日、GW、お盆の料金値上げを行います。(11月1日から)

| 区分 | 二輪車 | 普通車 | 大型車 |
|-----|------|-------|-------|
| 平日 | 200円 | 500円 | 1700円 |
| 混雑期 | 400円 | 1000円 | 3400円 |

※地元対策として1時間30分までの利用は無料としました。

臨時駐車場の設置(土日祝)

開園直後の公園周辺への来園車両を減らすため周辺地域に無料の臨時駐車場を設けて、直行バスで公園と結びます。(愛知学院大学、陶磁美術館、名古屋商科大学)

公園に至る県道交差点の 信号サイクルの調整

県警交通管制センターにおいて交通の流れを監視し、渋滞状況に応じて信号サイクルを調整します。

知事との話し合いの中で 「こども枠」 を実現しました

将来どこの土地にいても、ジブリのある長久手市が自分の故郷だと思ってもらえるまちづくりができたらの思いから、知事との話し合いの中で「こども枠」の設定を進めることができました。具体的には、一般定員枠とは別に、長久手市内の全小中学校、幼稚園、保育園等を対象として、遠足等の行事で利用可能な平日500人程度/日、優先入場ができる制度であります。

地元枠、新成人枠も交渉中

渋滞等で迷惑が及ぶエリアの方々への内覧会招待や、長久手市の成人式をジブリパーク内で行えるよう(成人式実行委員会の皆さんの同意が必要ではありますが)知事及び担当部局と現在交渉しております。